

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士後期課程

令和8年度一般入試・社会人特別入試第Ⅱ期

建築学専攻
デザイン学専攻

学力検査

筆記試験・外国語(英語)

令和7年12月6日(土)10:30～12:00(90分)

-
1. 問題用紙は本紙を含めて7枚です。
 2. 解答用紙は横罫線のある用紙が3枚、下書用紙は1枚あります。
 3. 解答用紙3枚全てに受験番号を明記して下さい。
 4. 各解答用紙には、解答する問題番号と設問番号を必ず記入してから解答するようにして下さい。
 5. 辞書等の持ち込みは認めません。
 6. 試験時間終了まで退室は認めません。
 7. 問題用紙と下書用紙は、試験終了後、持ち帰って結構です。

【第一問】（60点）

以下は、Carla Cipolla & Ezio Manzini による論文 “Relational Services” の抜粋である。文章を読み、設問に答えなさい。また、「*」のついた語については文末の「参考」を参照すること。

著作権の関係で掲載しておりません

著作権の関係で掲載しておりません

著作権の関係で掲載しておりません

著作権の関係で掲載しておりません

出典：Cipolla & Manzini (2009) “Relational Services” *Knowledge, Technology & Policy*, 22:45–47 より。 なお、出題の都合上、一部変更を加えている。

参考

Martin Buber：オーストリア出身のユダヤ系宗教哲学者（1878-1965）。Buberの哲学は、人間を孤立した個ではなく関係によって成立する存在と捉え、他者を対象化せず主体として向き合う「われ—なんじ」の関係に人間性と倫理の起点を見いだすものである。

Copernican revolution：コペルニクスの転回

dialogical principle：対話的原理

solidarity networks：連帯ネットワーク

unprecedented：前例のない

Buberian：ブーバー的（ブーバーによる対話の哲学の）

“I-Thou”：「われ—なんじ」

“I-It”：「われ—それ」

hazard into：～に飛び込む、身を投じる

anticipated：予期された、先取りされた

preconceptions：先入観

unmediated encounters：媒介されない／直接的な出会い

設問

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

2. 本文の内容として最も適切なものを一つ選びなさい。
 - A. 「School Bus」は本質的に強い対人関係を促すため、I-Thou 的な関係を中心に成立している。
 - B. 「I-It」関係は、相手を過去の分類や知識に基づいて理解するため、即時的な相互作用を阻害する。
 - C. Buberによれば、人間同士の関係は常に I-Thou のみで構成され、I-It は例外的な状態である。
 - D. 関係性サービスは、予測可能性を高めるために参加者間の相互関係を最小化する。

3. 本文によれば、Martin Buber が示す「I-Thou」関係と「I-It」関係は、サービスにおける人間同士の相互作用を理解するうえで重要である。本文の内容に基づき、両者の違いがサービスの質にどのような影響を与えるかを 250 字程度の日本語で説明しなさい。

【第二問】（40点）

あなたが大学院博士後期課程で研究しようとする研究内容について、英語で説明しなさい。文字数は指定しないが、解答用紙1枚以内を目安とする。

解答例・出題意図

【第一問】

1. (翻訳：模範解答)

「われ—なんじ」の関係は、人間であることのもっとも独自の特質である。それは相手と真に関わり合う能力であり、対話と出会いの双方を含む相互的な関係を指している。

2. (選択式：模範解答)

正解：B

A は誤り。School Bus は本文にある通り I-It 的な関係構造で運営される。

B は正しい。I-It 関係は過去の分類や知識に基づく対象化として説明され、本文の内容と合致する。

C は誤り。人間関係は I-Thou と I-It の両方が常に存在すると述べられている。

D は誤り。関係性サービスはむしろ相互関係を中心に構築される。

3. (記述式：模範解答)

Buber の「I-Thou」関係は、相手を固定化された役割や知識によって捉えるのではなく、一つの存在として向き合う現在の相互的な関係を指す。サービスにおいては、こうした関係が信頼や共感を生み、参加者同士の協働や関係性そのものを価値として成立させる。一方で「I-It」関係では、相手が機能的・分類的に扱われ、相互作用は効率や手続き優先となり、関係性の質は高まりにくい。本文では、この違いがサービスの性質を根本的に左右し、関係性サービスでは I-Thou 的な出会いが中心的要素となると述べられている。

【第二問】

自身の研究計画を英文で明確に記述できるかどうかを問う問題。

研究背景、研究課題、研究対象、研究手法 等が学術的な用語を用い、明確に説明できるかどうかを判定するための問題。